

◆ 検討の概要と課題

公園の概要	
【所在】札幌市中央区大通西 1 ～12 丁目【面積】78,901㎡【種別】特殊公園	
【変遷】1871 年 開拓使により火防線等を目的に道路を整備	
1911 年 西 3 ～ 7 丁目において本格的な公園整備	
1950 年 さっぽろ雪まつり初開催	
1968 年 札幌市創建百年記念事業として西 1 ・ 2 丁目を公園化、西 4 丁目などで噴水を整備	
1980 年 都市公園法を適用して大通公園として告示	
1989 年 大通公園リフレッシュ事業により再整備(～1994 年完成)	
	
課題	
大通公園は、年間を通して多くの市民や観光客が訪れる、札幌を代表する公園のひとつであり、都心の魅力向上に向け、周辺のまちとの連携や老朽化した施設の更新が必要である。	
また、時代の変化とともに、スケートボード、喫煙、自転車、イベント開催に伴う一般の公園利用への支障など、新たな課題が生じている。	
	
公園周辺のまちづくり	
北海道新幹線札幌延伸の動きをはじめ、大通公園周辺でも建物の更新が活発化している。	
また、公園施策を取り巻く環境についても、既存ストックの効果を一層高めるため、民間との連携加速や地域ニーズに対応した使い方など、より柔軟な発想で運用していくことが求められている。	
	
大通西 4 南再開発 (イメージ) 北 5 西 1 ・ 西 2 再開発 (イメージ)	
出典：大通西 4 南地区市街地再開発組合(左)	

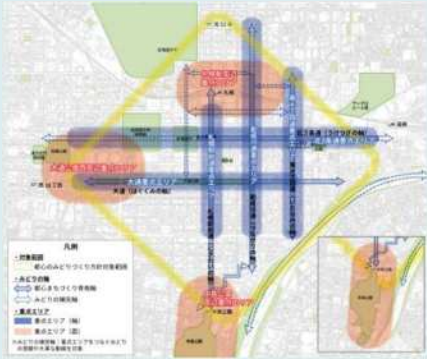
◆ 大通公園のあり方の検討経緯

■ 都心のみどりづくり方針の策定

- 札幌市は都心のまちづくりの更新期にあり、コロナや温暖化等による社会ニーズの変化などを踏まえ、「札幌市都心のみどりづくり方針」を策定している。
- 大通公園のあり方の検討は、都心のみどりづくり方針の目標を実現するための主要事業のひとつとして位置付けられている。



- 大通重点エリアはみどりづくりの方向性として「都心の発展に向け大通のさらなる魅力と機能の向上に資するみどりづくり」を位置づけている。



- 施設の老朽化や公園周辺の建物建て替えなどの機会を捉えて、大通公園においても、求められる役割や機能の変化に伴い、あり方検討を行うこととした。



噴水 ポンプ老朽化・塗装剥がれ(西4丁目)



カナル塗装剥がれ(西12丁目)



ザロイヤルパークキャンパス 札幌大通公園



大通西4南再開発(イメージ)

出典：三菱地所

出典：大通西 4 南地区市街地再開発組合

◆ 大通公園の変遷

明治～昭和期：火防線、都市公園・市民活動空間として整備

【設計思想】

- 長岡安平の設計思想 -自然的且つ、逍遙的な景観形成-
- 自然地形を活かし人工を抑え、土地に適した樹木を植えてメリハリのある景観の移り変わりを楽しめる逍遙的景観
- 自然を重視しつつ、美観と利便性にも配慮した設計手法



明治末頃の大通公園



昭和30年頃の大通公園

出典：札幌市文化資料室



出典：さっぽろ観光写真ライブラリー

平成期：象徴空間としての一体整備

【設計思想】

- テーマやゾーンを設定し、公園機能を高めるための整備
- 札幌の都市軸として歴史的に形成された都市空間の価値の継承
- みどりにあふれ水にふれることのできる都心のオアシスとしての機能の充実
- 人々が集い交流し、多彩なイベントが行われる空間の形成
- 都市と自然の融合を図り、緑・花・水・光などの演出
- 札幌の都心景観にふさわしいデザインの採用

令和期：はぐくみの軸強化方針、都心のみどりづくり方針

【重点的に進める取組の抜粋】

- 大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出：周辺の環境を活かしつつ市有地の活用を検討し、民間開発と連動しながら、象徴的な都市空間を創出する取組を推進。
- 道路空間の利活用の検討：市民・企業・行政などの協働による道路空間を活用した実証実験と必要な調査の実施。

【再整備に向けた課題】

平成の再整備から30年が経過し、施設の老朽化や公園に対するニーズの変化、公園周辺の建物建て替え機運の高まり等により、以下の課題が浮かび上がって来た。

- ① 大通公園の魅力と機能の向上
- ② 「いこい」と「にぎわい」の両立
- ③ 沿道と連携したみどりの軸の強化

◆ 有識者会議の経過

第 1 回 大通公園の魅力と機能の向上（2023年11月2日）

- 従来からの役割の継承・強化と新たな可能性の検討
- 老朽化に対応した大通公園の再整備の検討
- 大通公園の回遊性の向上に向けた議論と検討
- 民間事業者と連携した公園整備手法の検討

第 2 回 「いこい」と「にぎわい」の両立（2023年12月18日）

- 日常利用とイベント利用の使い分け
- 公園の憩い機能を発揮する公園敷地内外の空間形成
- エリアごとの特徴を活かした公園の利活用
- 多様な園内利用の検討と実現に向けた仕組みづくり

第 3 回 沿道と連携したみどりの軸の強化（2024年3月18日）

- 公園と沿道が連携したにぎわいの空間の創出
- 地下鉄などからのアクセス性を高める地下空間との連携
- 公園敷地と隣接した歩道部分の活用
- 公園～道路～民間敷地が一体となったみどり空間の創出

第 4 回 大通公園のあり方（骨子案）（2024年7月11日）

- 誰もが利用しやすい公園づくりに関する検討
- 遊びと喫煙環境に関する実証実験の考察
- 大通公園のあり方に関する検討
- 空間整備の方向性に関する検討

第 5 回 大通公園のあり方（素案）（2024年10月21日）

- 大通公園のあり方（素案）の検討

第 6 回 大通公園のあり方（案）（2025年1月予定）

◆ 検討の概要と課題

① 大通公園の魅力と機能の向上

主な課題

- ・ 増加する老朽化施設への対応が課題。



西7丁目の水景施設



西11丁目の水景施設

- ・ 市民ニーズとして実利用に結び付いた改善が求められており、都心にふさわしい質の高い公園の設えが求められている。



今後の方向性

【更新・発展の方向性】

- ① リフレッシュ工事から大きく育った樹木は、公園内外の遮へいとなる場合が多く、維持管理費にも課題があり、見直しが求められる
- ② 時代・ニーズの変化に合わせた遊び機能・水景機能の更新
- ③ 持続的な活動・より質の高い管理を見据えた官民連携の更なる発展

【維持・継承の方向性】

- ① 札幌を象徴する景観である大倉山・テレビ塔への眺望の確保
- ② 都心のオアシス機能を果たす、公園の樹木・芝生・水景空間の継承
- ③ 戦後の公園整備から受け継ぎ、海外では観光コンテンツとなり得る花壇やバラ園の継承
- ④ ボランティア・民間企業が参画しながらの整備や公園維持管理の継承

② 「いこい」と「にぎわい」の両立

主な課題

- ・ 日常利用とイベント利用の双方の機能が求められているが、日常利用できる期間およびエリアに制限がある。
- ・ 多様なニーズもある大通公園ではソフト面に関する検討も必要。



- ・ イベントで占有されている印象がある
- ・ イベント時にベンチを撤去しないでほしい
- ・ イベント時は人が多くなり歩けない・休めない
- ・ イベントがあっても日常利用したい
- ・ イベント時に休める所を増やしてほしい
- ・ イベントをやるところとやらないところで分けて欲しい



出典：札幌市「大通及びその周辺のまちづくり方針-札幌はぐくみの軸強化方針-オープンハウスアンケート調査」(R4)

今後の方向性

【更新・発展の方向性】

- ① 沿道施設の変化・多様化するニーズを踏まえた各丁目の使われ方の再検討が必要
特に子どもの遊び場に対する関心が高く、遊具に頼らない遊びの機能も求められている
- ② イベント時においても、日常利用ができるスペースが求められる
- ③ 札幌らしいイベント開催・更なる賑わい創出に向け、イベントのルールづくりや、質の向上に向けたマネジメント体制の構築が必要

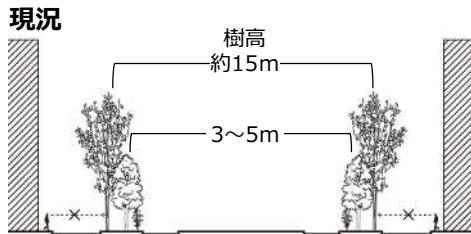
【維持・継承の方向性】

- ① 都心の貴重なみどりのある空間の継承
- ② 緑・花が豊かな空間で「遊ぶ・歩く」「休む」「食べる」ができる状況の担保

③ 沿道と連続したみどりの軸の強化

主な課題

- ・ 平成の再整備時より樹木が大きくなり、遮へい部分の増加、維持管理費の増加、道路への越境が課題。
- ・ 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足。



現況



- ・ 公園側歩道部は歩行空間とも緑化空間とも言えない中途半端な空間になっている。



土舗装(西9丁目)



歩道沿いの駐輪状況(西8丁目)

今後の方向性

【更新・発展の方向性】

- ① 歩行空間とも緑化空間とも言えない中途半端な空間になっている、歩道部空間の再検討を行う
- ② 現状の大通公園は、日常的な駐輪や路上喫煙、イベント時のプレハブ設置、樹木の成長などにより、沿道とのつながりが薄れており、沿道との連携強化が求められる
- ③ 地下空間から大通公園が認知しづらい状況の改善や、周辺のまちなみへの回遊性向上により、「街区」「道路(地下空間)」「公園」がさらに一体的な空間となるように検討が必要
- ④ 沿道開発の機会をとらえ、ハード面・ソフト面での更なる連携強化が求められる

【維持・継承の方向性】

- ① 東西に連なる札幌の象徴的なみどりの軸の継承。
- ② 西8丁目・9丁目の連続化による、広々とした市民の憩いの場の継承
- ③ バリアフリー環境の維持(ユニバーサル化の推進)

◆テーマ・コンセプト

大通公園のあり方：（仮）Inclusive Green Corridor

防火帯から市民の憩いの場となり、公園・道路・沿道が一体となった空間形成を目指している背景を踏まえ、今後もみどり豊かな空間であるとともに、多様な価値観を受け入れ、誰もが互いに尊重しあうこれからの時代にふさわしい象徴空間を目指す

01-1 歴史性・地域性

- みどり豊かなこいの空間の継承
- 市民に親しみ・愛されてきた象徴性の継承
- 都心のオアシスである水景空間の継承
- 歴史・文化を象徴する野外彫刻などの継承



02-1 生活の場（日常）

- 四季を通じて、日常的に大人から子どもまでが思い思いに過ごせる空間の創出
- 年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず使いやすい空間の整備



03-1 都市の中心にあるみどり

- 中長期的な視点で樹木の健全化を図り、都心部の豊かで良好なみどり空間の維持・向上
- 芝生や花壇に一層親しむことのできる環境や、みどりを身近に感じられる機会を促進
- 都心のオアシスである水景空間の更新



04-1 連続した軸としての一体性

- 札幌の景観特性と街の成り立ちを尊重した景観形成
- 大通公園西側、創成東地区、時計台への人の流れや連続性を意識した空間形成
- 街区間のつながりを持たせた空間形成や利活用方針の検討



05-1 公共によるマネジメント

- 持続的な管理運営を図るため、都市公園に関わる収入の公園施設への還元を検討
- 公園の周辺ならではの開発インセンティブの検討
- 公園利用ルールを検討



01

過去と未来を重ね合わせる

大通公園が持つ歴史や文化、象徴性を継承すると共に、これからの時代に相応しい機能や空間を付加していくことで、新たな価値を創出していく

02

日常と非日常を重ね合わせる

日常的に誰もが思い思いに過ごせる空間を創出すると共に、札幌ならではのにぎわいを創出していくことで、大通公園の魅力を高めていく

03

都心のみどりとまちなみを重ね合わせる

都心の中心にある公園として質の高いみどり空間を創出すると共に、まちの回遊拠点としての役割も高めていくことで、みどりとまちなみの一体感を醸成していく

04

一体性と個性を重ね合わせる

1.5kmに及ぶ1つの公園としての一体性を保つと共に、各街区の個性や変化をより感じられる施設計画を行うことで、歩きたくなる空間を創出していく

05

公共と民間の強みを重ね合わせる

公共によるマネジメントだけにとどまらず、民間事業者・市民団体の活力をこれまで以上に活かすことで、持続可能な施設整備や管理運営を達成していく

01-2 将来性・国際性

- 環境配慮型の施設整備、再生可能エネルギーの活用、グリーンインフラとしての機能向上
- 国内外の人々が集い、交流を生み出す空間形成
- デジタル機能を活用した、利用者サービスの向上や管理運営の効率化



02-2 発信の場（非日常）

- 多様な日常利用とイベント利用の両立を図る、最適な空間配置の検討
- 札幌らしさ、大通公園らしさを発信できる魅力的なイベントなどによる、にぎわい創出の仕組みの検討



03-2 みどりと近接したまちなみ

- 都心部の回遊拠点として公園とまちをつなぎ、アクセス性・回遊性を高める環境の整備
- 大通全体のにぎわい創出や地上地下結節等に資する、公園と沿道との一体感を高める空間整備



04-2 各街区の個性

- 丁目ごとの変化を感じられる、歩きたくなる空間の形成
- 沿道の土地利用や建物状況に応じた空間機能の一体性の確保
- 景観に配慮した施設の整備



05-2 民間事業者・市民団体の活力

- 民間事業者や市民団体の力を活かした管理運営や施設整備の推進
- 都心の活性化に係る幅広い民間の公園活用のアイデアを受け止められる仕組みの検討



大通西4南再開発（イメージ）
出典：大通西4南地区市街地再開発組合

◆取組詳細

01
過去と未来を重ね合わせる

01-1 歴史性・地域性

- ・みどり豊かなこの空間の継承
- ・市民に親しみ・愛されてきた象徴性の継承
- ・都心のオアシスである水景空間の継承
- ・歴史・文化を象徴する野外彫刻などの継承

01-2 将来性・国際性

- ・環境配慮型の施設整備、再生可能エネルギーの活用、グリーンインフラとしての機能向上
- ・国内外の人々が集い、交流を生み出す空間形成
- ・デジタル機能を活用した、利用者サービスの向上や管理運営の効率化

02
日常と非日常を重ね合わせる

02-1 生活の場（日常）

- ・四季を通じて、日常的に大人から子供までが思い思いに過ごせる空間の創出
- ・年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず使いやすい空間の整備

02-2 発信の場（非日常）

- ・多様な日常利用とイベント利用の両立を図る、最適な空間配置の検討
- ・札幌らしさ、大通公園らしさを発信できる魅力的なイベントなどによる、にぎわい創出の仕組みの検討

樹冠が重なり鬱蒼とした樹林環境の改善や腐朽などが進み健全性が低下した樹木の更新などを行い、長く市民に親しまれてきたみどり豊かなこの空間を維持・継承していきます。

雨水貯留・浸透機能が期待できる植栽基盤や舗装基盤などの導入を検討し、公園が持つグリーンインフラとしての機能を充実させ、持続可能な都市を支える象徴的な空間とします。

ブラック・スライド・マントラ（西8丁目）やクジラの山（滑り台が併設された築山）、遊水路のように、景観要素とそれ以外の機能が多義的に兼ね備わった、誰もが楽しむことができる遊びやすいこの機能の充実を図ります。

イベントが盛んに行われている西5・6・7丁目において、芝生と舗装のバランスの再編を検討し、イベントを開催しやすい空間を実現します。

樹木や芝生からなるみどりの軸とその先に見える山並みやテレビ塔へのビスタ（眺望）を維持・継承していきます。

二次元コードを活用した多言語対応の公園案内や施設の解説など、ICTを活用することで、公園利用者の利便性の向上と公園管理運営の効率化を図ります。

多様な過ごし方を選択できるように、樹林内へのテーブル・ベンチの配置や、ほど良い高低差の創出などを検討します。

設営撤去期間の短縮を目的とした電気・給排水設備の整備など、イベント用の仮設施設の充実を図ります。

野外彫刻などは、大通公園内で維持・継承していくことを基本としますが、樹木などの陰に隠れ、十分に認知されていない施設も多数あることから、移設により存在感を高めていくことを検討します。

大通公園の集客力や発信力を活かし、先進的な取組や社会実験を受け入れ、新たな価値や情報を発信し共有する場としていきます。

雪と触れ合うなど、年間を通して札幌の四季を感じることができる空間を整備します。

様々な距離感でイベントとの関わりを選択できるように施設計画により、公園利用者の快適性の向上を図ります。

◆取組詳細

03

都心のみどりとまちなみを重ね合わせる

03-1 都市の中心にあるみどり

- ・中長期的な視点で樹木の健全化を図り、都心部の豊かで良好なみどり空間の維持・向上
- ・芝生や花壇に一層親しむことのできる環境や、みどりを身近に感じられる機会を促進
- ・都心のオアシスである水景空間の更新

都心の中心にある公園として質の高いみどり空間を創出すると共に、まちの回遊拠点としての役割も高めていくことで、みどりとまちなみの一体感を醸成していく

03-2 みどりと近接したまちなみ

- ・都心部の回遊拠点として公園とまちをつなぎ、アクセシビリティ・回遊性を高める環境の整備
- ・大通全体のにぎわい創出や地上地下結節等に資する、公園と沿道との一体感を高める空間整備

現状のみどりをそのまま維持するのではなく、大通公園に相応しい緑量を検討し、適切な樹木の間引きや下枝の整理等を行っていきます。



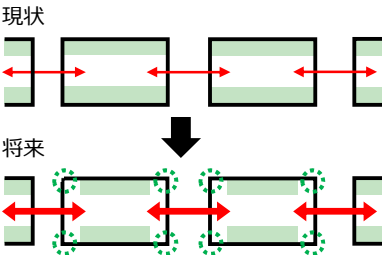
公園に隣接した2mの歩道部分については、空間の形状や利用に関する検討を進め、ベンチの配置や樹木の剪定を行うことで、公園とまちをつなぎ設えを検討します。



各丁目にバランスよく配置されている芝生や花壇については、より注目され親しまれるものとなるよう、配置や形状の見直しを検討します。



街区の角部に人の流れを受け止める広場空間を設けたり、樹木の下枝整理による見通しの改善を図ることで、回遊性とアクセシビリティを高めます。



都心のオアシスである水景施設については、現状の公園利用や持続可能な管理運営にも配慮し、施設数や配置の見直しを行いながら、新たな形で水に触れ合えたり、水との距離感が選択可能な設えを検討します。



大通公園沿道の再開発などの機運を捉え、連携して公園の整備を行うことで、公園と周辺のまちの一体感を醸成します。



大通西4南再開発（イメージ）

出典：大通西4南地区市街地再開発組合

04

一体性と個性を重ね合わせる

04-1 連続した軸としての一体性

- ・札幌の景観特性と街の成り立ちを尊重した景観形成
- ・大通公園西側、創成東地区、時計台への人の流れや連続性を意識した空間形成
- ・街区間のつながりを持たせた空間形成や利活用方針の検討

1.5kmに及ぶ1つの公園としての一体性を保つと共に、各街区の個性や変化をより感じられる施設計画を行うことで、歩きたくなる空間を創出していく

04-2 各街区の個性

- ・丁目ごとの変化を感じられる、歩きたくなる空間の形成
- ・沿道の土地利用や建物状況に応じた空間機能の一体性の確保
- ・景観に配慮した施設の整備

樹木や芝生からなるみどりの軸、その先に見える山並みやテレビ塔へのビスタ（眺望）、デザインの統一感など、大通公園としてのトータルコンセプトに基づき、一体性を図ります。



まちの景観に溶け込み、都心にふさわしい景観を創出しつつも、個性を感じられる水景施設・遊び場・ファニチャー等のデザインプランを検討します。



05

公共と民間の強みを重ね合わせる

05-1 公共によるマネジメント

- ・持続的な管理運営を図るため、都市公園に関わる収入の公園施設への還元を検討
- ・公園の周辺ならではの開発インセンティブの検討
- ・公園利用ルールへの検討

公共によるマネジメントだけにとどまらず、民間事業者・市民団体の活力をこれまで以上に活かすことで、持続可能な施設整備や管理運営を達成していく

05-2 民間事業者・市民団体の活力

- ・民間事業者や市民団体の力を活かした管理運営や施設整備の推進
- ・都心の活性化に係る幅広い民間の公園活用のアイデアを受け止められる仕組みの検討

民間事業者や市民団体のボランティア活動や利用の場として積極的に機会を提供し、地域への愛着や生きがいを育む仕組みづくりを検討します。



再開発に伴う大通公園への貢献メニュー等を検討し、公園施設の更新や整備などを進めます。



大通西4南再開発（イメージ）

出典：大通西4南地区市街地再開発組合

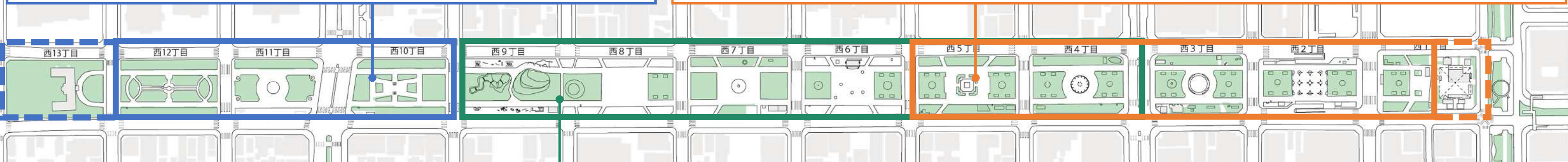
◆大通公園の将来イメージ

西10-12丁目
札幌の歴史と文化を伝承するエリア

- ・札幌の歴史や文化、花とみどりを活かし、多様な交流をはぐくむエリア
- ・野外彫刻、姉妹都市施設、西13丁目の資料館といった札幌の歴史を体感できるエリア
- ・芝生や花壇、ガーデニングといった大通公園の文化を体感できるエリア

西1-5丁目
札幌を象徴する公園の顔となるエリア

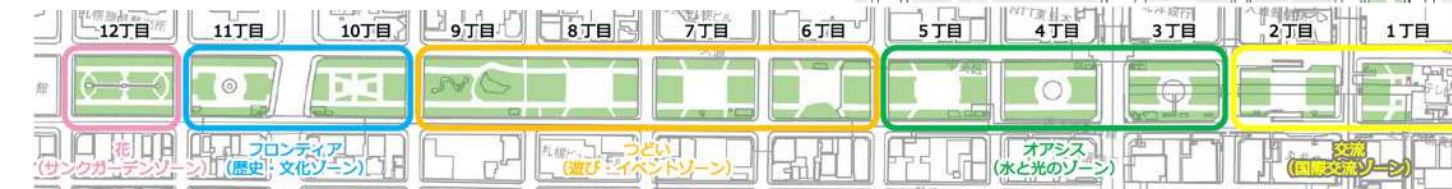
- ・札幌都心の骨格軸である札幌駅前通と大通が交差し、札幌を象徴する施設・活動が集積するエリア
- ・大通公園を特徴づけるみどりや水景施設のほか、テレビ塔や大倉山への眺望により、札幌らしさを体感できるエリア
- ・沿道と一体となったにぎわいが創出され、多くの来街者の滞留や交流が生まれるエリア



西4-9丁目
多様なニーズに対応した札幌ならではの活動を体験できるエリア

- ・いこいの充実を図ることにより、多様なライフスタイルと都市型イベントの共存を図るエリア
- ・イベントの質的向上を図ることで札幌を代表するイベントを体験できるエリア
- ・多様な遊び・休息・滞留機能の充実、冬でも遊べる仕掛けを取り入れることで札幌ならではの公園利用を体験できるエリア

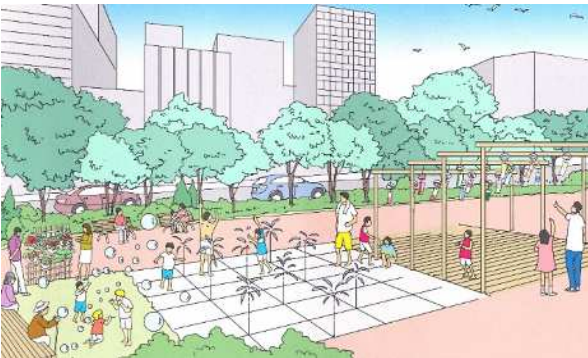
○参考 大通公園の既存ゾーニング図



◆大通公園の活動イメージ



- ・先に進みたくなるような変化やランドマークがある
- ・各丁目の出入口が感じられる
- ・1.5km全体が一体と感じられる共通のデザイン要素がある
- ・先に進みたくなるような移動の選択制がある



- ・道路の音から離れた場所が見つかる
- ・身体を使える地形のような場所がある
- ・身体を使った子ども・大人の遊び場になる



- ・使いづらさを感じにくくする配慮
- ・公園とそれ以外とのつながりへの配慮
- ・ファニチャー、ロゴ、ユニフォームなど公園全体としての統一性を感じられるきっかけがある



- ・本物の文化（衣食住・心技体）に触れられる
- ・多義的な過ごし方（遊び場、音楽、スポーツ等）に触れられる
- ・社会実験などの新たな取組に触れられる



- ・イベントへの参加度合いを選択できる
- ・日常的に過ごす時間で人との距離に選択性がある（ベンチの向き、サイズ等）
- ・木、水のような自然との距離に選択性がある



- ・少し高い場所/低い場所がある
- ・色々な姿勢で過ごせる
- ・公園を外から眺められる場所がある（木立の密度や視線の抜け）
- ・花の場所、緑の場所、映える場所のメリハリがある



- ・冬季や夜間でも楽しめる場所がある（ライティング等）
- ・時間毎の変化が感じられる（時報のような仕掛けなど）
- ・植物の変化で四季が感じられる
- ・雨でも長く過ごせる場所がある
- ・冬のソリ移動が楽しめる



- ・夏場のミストなどにより環境の良さを感じられる
- ・コンポストなど環境配慮の取組を知る環境教育の場となっている
- ・参加できる環境活動がある
- ・災害時にも安心できる備えが感じられる

今後のスケジュール（予定）

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
大通公園	あり方検討				
	基本計画等、具体的施設の検討 ・関係機関協議				
	設置物調査・測量調査等の各種調査				
大通西4再開発	連携				
	解体工事・新築工事				
	権利変換計画認可				
	竣工				